



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和5年1月10日（火）
第36号
発行責任者
校長 志賀 嘉津美
電話 22-3802

3学期スタート 令和5年もよろしくお願いいたします

あけましておめでとうございます。令和5年が始まりました。

始業式では、進路実現を目指し強い意志と自覚が見て取れる3年生、原町三中の中心として活躍するための力を蓄えてきている2年生、まもなく新入生を迎え、中学生としての頼もしさを備えつつある1年生が元気な顔をそろえました。生徒一人一人が自分を磨き、自分の可能性を広げる年となるよう、そして教職員にとっても、生徒の皆さんを大きく成長させることができる年になることを願っています。

本年も本校教育活動に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



東北中学校バドミントン選手権大会 12月26日（月）、青森県弘前市において第6回東北中学校バドミントン選手権大会が開催されました。本校からは、男子シングルスに山下さん（2年）が出場し、サポートとして羽根田さん（2年）が同行しました。

1回戦（VS 弘前東中）を2-0で勝利しましたが、2回戦（VS 浪岡中：青森県）は、惜しくも敗れ3回戦進出とはなりません。顧問の菅野先生からは、「2セット目は相手のクセやウィークポイントを掴みながら、接戦の試合を見せてくれましたが、後半に一気に差をつけられました。強敵に立ち向かう姿、山下くんの成長を間近で感じることができました。」とうれしい報告がありました。原町三中生がこのような大舞台で、力を発揮してくれたことを誇りに思います。山下さん、羽根田さん お疲れ様でした。



「給食の黙食」についての学校の方針

昨年11月に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が見直されました。「黙食」の記述がなくなったことを受け、文部科学省から、「座席配置の工夫や適切な換気の確保などの措置を講じた上で、給食の時間において、児童生徒などの間で会話をを行うことも可能とする」との通知がありました。

本校としましては、依然として感染の増加傾向にあること及び受験期を迎え感染による影響や不利益等の絶無を図りたいこと、加えてインフルエンザの同時流行も懸念されることから、「給食時の黙食励行」は、これまで通り継続し、飛沫の飛散防止に注意を促していきたいと思っております。3年生は、福島県立高等学校の前期選抜まで50日となりました。受験を控えた生徒のご家庭での体調管理を引き続きお願いしたいと思います。

「黙食やマスク等が生徒のストレスやコミュニケーション不足の一因になっている」という論評も耳にしますが、「会話をしながらの給食」についての判断は、もう少し先のことになるかと思っております。これらの対応につきましては、感染状況及び生徒・保護者の不安を踏まえ、学校としての方針を示していきたいと考えております。

学校における新型コロナウイルス感染拡大の防止と教育活動の継続を両立させ、3年生の進路希望の実現、本校生徒全員の充実した学校生活の実現に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。



2学期の給食の様子

※ 裏面に、「学校評価の結果について」を掲載しております。

学校評価の結果 1/3

◎12月に実施した「学校評価」の結果を、今回から3回に渡ってお知らせします。今回はその1回目になります。

○ 重点目標について

重点目標「自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒」	全体	3.4	教職員と生徒・保護者の評価に差が見られました。生徒に対しての『明確な行動目標』を立て、学校からの周知を徹底する必要性を感じています。生徒自身が自己の成長を実感できる場面や保護者と努力の過程を共有する場面をつくっていく必要であると考えます。
保護者	保護者	3.3	
生徒	生徒	3.1	
教職員	教職員	3.8	

1 確かな学力を身に付けさせます

<p>1(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をし、確かな学力を身に付けさせます</p>	<p>全体 3.5</p> <p>保護者 3.2</p> <p>生徒 3.4</p> <p>教職員 3.9</p>	<p>教職員はお互いの授業を参観することで、「分かる授業」を目指すと同時に様々な教育課題の解決に向けて研鑽を積み上げています。生徒の「知りたい」「分かりたい」を最優先し、深い学びにつながるよう授業改善に努め、学力向上を図っていききたいと思います。</p>
<p>1(2)学習における自己マネジメント力を育てます</p>	<p>全体 3.3</p> <p>保護者 3.1</p> <p>生徒 3.1</p> <p>教職員 3.9</p>	<p>保護者・生徒の評価は昨年同様でしたが、教職員自身の評価は上がっています。引き続き「一人一人が、課題に気づき、考え、対話によって学び合うことのできる生徒の育成」を目指し、より一層生徒理解に努め、個に応じた学習指導に取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>1(3)読書をしたり新聞を読んだりする生徒を育てます</p>	<p>全体 3.4</p> <p>保護者 3.2</p> <p>生徒 3.4</p> <p>教職員 3.8</p>	<p>生徒・教職員の評価は昨年度より上がっていますが、保護者は0.2下がっています。生徒一人あたりの読書量は増加の傾向にあります。ご家庭でもスマホやテレビなどの電子媒体の使い方を考え、新聞や本に触れる機会を可能な限り確保していただきたいと思っています。</p>
<p>1(4)各種検定に挑戦させ、資格取得を奨励します</p>	<p>全体 3.2</p> <p>保護者 3.3</p> <p>生徒 3.0</p> <p>教職員 3.3</p>	<p>受検希望者が増えたことで、各種検定試験が校内で実施することができました。全体評価は昨年度比+1.0となりました。努力の過程は大事ですが、可否に関わる結果も大事です。事前の対策指導を継続し、検定試験受検への意欲の喚起と合格率の向上につなげていきます。</p>

※ 評価は、4:あてはまる、3:どちらかといえばあてはまる、2:あまりあてはまらない、1:あてはまらない、△:よくわからないで回答していただきました。「よくわからない」については、評価点には入っていません。